

日本遺産 絶景の宝庫 和歌の浦

～ 詠い継がれる、美しき風景～



和歌山

●日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」関連地域マップ

和歌の浦は和歌山市街の南方、和歌浦湾に海に面した一帯を指す。西は雑賀崎、南は熊野古道の藤白坂まで、歴史に彩られた景勝が広がる。



●和歌の浦の主な宿泊施設

- 1 紀州和歌の浦 木村屋
- 2 新和歌ロッジ
- 3 和歌の浦温泉 萬波 MANPA RESORT
- 4 紀州温泉ありがとうの湯 漁火の宿 シーサイド観潮
- 5 双子島荘
- 6 潮風荘
- 7 和歌山マリーナシティホテル
- 8 紀三井寺温泉 花の湯 ガーデンホテルはやし
- 9 和歌山プリンスイン海南

※本誌に掲載した地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用しています。(承認番号 平29情使、第722号)

●和歌の浦へのアクセス

鉄道		車	夜行長距離バス	
新大阪駅	奈良駅	京都南IC	運行ルート	所要時間
↓ JR阪和線 特急約1時間	↓ JR大和路線・阪和線 特急約1時間30分	↓ 名神高速 約30km	東京(新宿・東京駅)～和歌山(JR和歌山駅・南海和歌山市駅)	9時間30分～10時間
和歌山駅	和歌山駅	吹田JCT	南海バス・御坊南海バスほか	
↓ JR紀勢本線 特急約10分		↓ 近畿道 約28km	海浜幕張・横浜～和歌山	9時間25分～11時間20分
海南駅	新宮駅	松原JCT	和歌山バスほか	
	↓ JR紀勢本線 特急約1時間50分	↓ 阪和道 約60km		
なんば駅	白浜駅	和歌山IC		
↓ 南海本線 特急約1時間	↓ JR紀勢本線 特急約1時間20分	↓ 阪和道 約13km		
和歌山市駅	海南駅	海南IC		
	↓ JR紀勢本線 特急約10分	↓ 阪和道 約2km		
関西空港	和歌山駅	下津IC		
↓ JR関西空港線・阪和線 (日根野駅で乗り換え) 約45分 あるいはリムジンバス 約40分				
和歌山駅				
関西空港				
↓ 南海空港線・南海本線 (泉佐野駅で乗り換え) 約40分				
和歌山市駅				

フェリー		
航路	運行会社	所要時間
徳島港～和歌山港	南海フェリー	2時間～2時間15分

日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」
公式サイト
<http://wakanoura-nihonisan.jp/>



発行／和歌の浦日本遺産活用推進協議会(和歌山県観光振興課内) 問合せ／☎073-441-2424
観光の問合せ／(一社)和歌山市観光協会 ☎073-433-8118 海南市観光協会 ☎073-483-8461
【表紙写真】蓬萊岩「朝陽輝く」

おもな構成文化財

- 1 玉津島神社** たまつしまじんしゃ
和歌の神・衣通姫尊(そとおりひめのみこと)を祀る。背後の眞供山から和歌の浦の海を一望でき、その景色に聖武天皇が感動したという。
- 2 和歌浦天満宮** わかうらてんまんぐう
大宰府に向かう途中、和歌の浦に立ち寄ったとされる菅原道真を祀る。本殿や楼門は後に江戸幕府御大工棟梁となった平内政信によるもの。
- 3 護国院(紀三井寺)** ごこいん(きみいでら)
西国三十三所観音霊場第二番札所。和歌川干潟の東にそびえる名草山の中腹にあり、絶景を一望できる名所として知られてきた。
- 4 黒江の町並み** くろえのまちなみ
古くは黒牛潟と呼ばれた入り江に築かれた町並みで、江戸時代には紀州漆器の産地として栄えた。今も連子格子の町屋が並ぶ景観が残る。
- 5 琴ノ浦温泉荘園** ことのおんざんそうえん
大阪の実業家だった新田長次郎によって大正時代に築かれた1万8000坪の大庭園。潮入式池泉回遊庭園と、主屋内部が見学できる。
- 6 7 藤白神社・熊野参詣道紀伊路** ふじしろじんしゃ・くまのさんけいみちきいじ
上皇や貴族が歌会や神楽を奉納した藤白王子跡に立つ神社。熊野参詣道の藤白坂を上った山頂にある御所の芝は、和歌の浦を眺める絶好地。
- 8 紀州東照宮** きしゅうとうしょうぐう
紀州徳川家初代・頼宣(よりのぶ)公が父・家康公の霊を祀るために造営。桃山時代の華麗な社殿がそびえ立ち、「関西の日光」とも呼ばれる。
- 9 和歌祭** わかまつり
紀州東照宮の創建当初から伝わる例大祭で、毎年5月第2週日曜(変更の場合あり)に斎行。108段の石段を御神輿が勇壮に下り、渡御行列が練り歩く。
- 10 養翠園** ようすいえん
高津子山などの山並みを借景にした雄大な庭園。大名庭園としては大変珍しい、海水を取り入れた汐入式の池を配している。
- 11 不老橋** ふろうばし
嘉永4年(1851)に、紀州徳川家十代・治宝(はるとみ)公の命により建造。勾欄部分には、雲を文様化した美しい彫刻がみられる。
- 12 長保寺** ちょうほうじ
一条天皇の勅願より創建された寺院で、本堂と多宝塔、大門は国宝に指定。紀州徳川家の菩提寺であり、境内の奥に歴代藩主の廟所が広がる。
- 13 和歌山城** わかやまじょう
豊臣秀吉が弟の秀長に築かせた城で、紀州徳川家の居城となった。虎伏山の山上にそびえ立つ天守閣から和歌山市街が見渡せる。



絶景の宝庫

日本遺産

和歌の浦

わかうら



万葉のころより、美しい景勝で名高く、その情景を歌に詠われ、和歌の聖地となった和歌の浦。潮の干満により刻一刻と表情を変える姿は、ときを忘れて見とれるほどの絶景です。

名草山からのご来光を望む和歌の浦の夜明け。心に沁みる美しさだ



(右) 妹背山に立つ観海閣は、紀三井寺の拝殿として徳川頼宣公が建立したもの
(中) 急峻な地形にびっしりと張り付くように建物が並ぶ雑賀崎(さいかざき)の独特な風景
(左) 雑賀崎から番所庭園を望む。開放的でダイナミックなすばらしい景観

和歌の浦は和歌山市街の南方、和歌川河口の干潟を中心に雑賀崎や熊野参詣道紀伊路・藤白坂まで広がる歴史深く風光明媚な地。万葉の歌人・山部赤人や柿本人麻呂をはじめ、文人墨客に愛され詠われた景勝の地です。心を打つ叙情的な風景はいつの時代も人々を魅了し、多様な芸術をも育んできました。

玉津島山と呼ばれた6つの岩山付近の風景は特に風情が豊か。聖武天皇が雄大な景色を愛でたという眞供山(てんぐやま)のふもとには和歌の神を祀る玉津島神社が鎮座します。今も海に浮かぶ妹背山には多宝塔、観海閣が立ち、水面にアーチ形の美しい姿を映す不老橋、権現山の中腹に華麗な社殿がそびえる紀州東照宮など紀州徳川家由縁の建造物も点在しています。

そんな和歌の浦の有形無形の文化財群を語るストーリー「絶景の宝庫 和歌の浦」が、2017年4月、文化庁の日本遺産に認定されました。景勝だけでなく和歌の浦の伝統文化や遺産のすばらしさを、改めて私たちに伝えてくれます。日常を解き放つ、情緒あふれる感動を求めに、和歌の浦を訪れてみませんか。

日本遺産とは…

地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定する制度。2015年に創設され、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用し、地域活性化を図ることを目的としている。これまでに「絶景の宝庫 和歌の浦」を含む54件が認定されている(2017年8月末日現在)



JAPAN HERITAGE
日本遺産